

令和6年度
移動図書館車の購入
特記仕様書

交野市立図書館

1. 目 的

交野市立図書館自動車文庫事業を実施するため、効果的かつ機能的に諸条件が配置されていることを主とし、該当車両を定員3名、左右内外架式書架設備による3,000冊を積載可能な移動図書館車の購入を行う。

2. 車体の仕様打合せ・製作承認

- (1) 受注者は、本車両の製作前に、製作上の細部（寸法・色・絵柄・文字等を含む）及び製作工程等について交野市と十分な仕様打合せを行い、内容を確認すること。

なお、打合せの際は、交野市の意図を汲み取り、最善と思われる施工内容等を交野市へ提案すること。

- (2) 仕様打合せを決定した事項について、受注者は製作承認図及び製作工程表を交野市へ提出し、承認を得たうえで製作作業にあたること。

また、承認後の製作承認図及び作業工程表に変更が生じる場合は、その事実が分かった時点で速やかに交野市へ説明するとともに、必要に応じて内容を変更し、交野市の承認を得たうえで提出すること。

3. 車両

- ・ 3.0トンシャーシ ワイドキャブ とする。
- ・トラックシャーシに図書館車ボディーを架装する。
- ・ディーゼルエンジン（使用燃料：軽油）、パワーステアリング付き。
- ・トランスミッションはオートマチック(AT)とする。

4. 車体

①規格

- ・全 長 5,390mm以下とする。
- ・全 幅 2,110mm以下とする。
- ・全 高 2,700mm以下とする。（室内高 1,600mm以上とする）
- ・室内幅 1,800mm以上とする。
- ・運転室から書架室へ行き来できるセミバス型とする。

②天井部

内部には断熱材を充填し、書架固定用補強をして化粧板仕上げとする。

③床部

耐水ベニヤの上にロンリウムを張り仕上げとし、滑りにくい材質の床材をはる。

④運転席扉・助手席扉

- ・標準車とおりにする。
- ・運転席扉と助手席扉にサイドバイザーを取り付けること。

⑤後部扉

- ・扉は跳ね上げ1枚式とする。開閉は外面からでき施錠もできること。
- ・扉の内側に車いす用リフトを設けること。
- ・扉上部に雨樋を設けて、扉開閉の際の雨の侵入を防ぐこと。

⑥左折扉

- ・内側折りたたみ式扉とする。開閉は内外両面からでき、施錠できること。
- ・扉に採光窓を設け（左右1箇所）雨水防止を完全にすること。
- ・全開時、全閉時とも固定できる構造とする。
- ・昇降用の手摺りパイプを内側に1本付けること。
- ・昇降用ステップは段増によって、幼児の昇降に容易な寸法とする。

⑦側面書架扉

- ・左右に跳ね上げ式扉を各1式設置し、雨水防止を完全にすること。
- ・扉にLED照明を各1灯設けること。
- ・扉は、開口時に傾斜をつけ雨水の侵入を防ぐ構造とする。
- ・扉の上部車体側面部分と上開き扉側端に雨水防止のための特殊雨樋を設ける。
- ・書架最下部より引き出し式テーブルが出る構造とすること。
引き出し式テーブルの耐荷重は100kg以上とすること。
- ・扉の支柱には、扉の重量に十分耐え、又容易に開閉できるようガス入りダンパーを使用すること。
- ・扉の開閉装置は、手動で容易に開閉できる密閉式埋め込みハンドル型とする。また走行時の振動等で解除されない構造とすること。
- ・何らかの異常により扉の開閉装置に異常が発生した場合に備え扉が開かないよう、安全装置を備えること。また、この安全装置も振動に強い構造であること。
- ・走行時、振動等により騒音が発生しない構造とすること。

⑧側面受付扉

- ・車体右側に跳ね上げ式扉を設けること。
- ・構造は書架扉と同じとすること。

⑨天井採光窓

- ・天井部に室内の採光を配慮した明かり採り窓を、書架通路にできるだけ大きく2箇所取り付けること。
- ・雨水防止を完全にすること。
- ・レースカーテンをそれぞれ設けること。

⑩後部ステップ

- ・後部扉下部に階段ステップを設けること。
- ・ステップ踏板は衝撃に十分耐えうる頑丈なものとし、アルミ縞板張りとし、すること。
- ・ステップは車いす用リフトを展開した状態で使用できるものとし、着脱式によりスムーズに設置が行えるものとし、すること。
- ・幼児の昇降に容易な寸法とし、すること。
- ・車いす用リフトの手摺りをステップ使用時も利用することを考慮し、最大限大きなものとし、女性でも持てる重量とし、すること。
- ・走行時は書架室に積み込むため、収納場所を考慮すること。

⑪特殊雨樋

上開き扉上面に設け、左右後各1式の3式を装備すること。

⑫バッテリー庫

標準バッテリーの点検、整備を考慮して開閉扉を設けること。

⑬サブバッテリーとインバーター

- ・予期せぬ自然災害等に備えて、サブバッテリーとインバーターを搭載すること。
- ・サブバッテリーとインバーターの容量（スペック）は契約後に本市と協議の上これを決定すること。

⑭ミラー類

- ・標準車とおりにする。
- ・ミラーにミラーカバーを取り付けること。

⑮硝子構造

- ・フロント硝子は、標準車とおりにする。

- ・固定窓の硝子は、すべて強化硝子とすること。

5. 室内取付品

①座席（定員3名分）

- ・運転席と助手席、中央席は標準車とおりにする。
- ・受付席を設けること。（定員外席）
- ・定員分の安全ベルトを装備すること。

②書架（木製）

- ・内外架式書架を右4架、左5架の計9架設置し、それぞれをボルトで頑強に固定させること。
- ・書架の材料は木製とし、特に耐震、捻じれ等にも対処した作りとし、図書の重量、走行中の振動での緩み、歪みのでないようにすること。
- ・防腐処理に十分配慮し、施すこと。
- ・書架の寸法については別に指示する。
- ・書架内架棚は、図書の落下防止のため、約10度の傾斜をつけること。
- ・内架書架の各棚に滑り止め具を付けること。
- ・書架は各棚の高さを容易に変更できる可動式構造とすること。
- ・書架の表面は腐食防止を考慮してデコラ張りとすること。
デコラの色等については契約後決定する。

③机・椅子固定バンド

- 机・椅子を固定するバンドを内書架の随所に設けること。

④受付机

- ・軽量で強度のある材料を使用し、天板はデコラ張りとする。
- ・防腐処理を完全に行うこと。
- ・机には、引き出しを設けること。
- ・椅子は固定とし、下部に収納庫を設けること。

⑤昇降口

- 側面、後面、昇降口、上部室内側に危険防止のための黄色クッション入りプロテクター取り付けること。

⑥時計

アナログ式時計を1箇所取り付けすること。

⑦巡回表示板

- ・「つぎの巡回は○月△日□曜日です」のカード差し込み枠を取り付けること。
- ・取付位置は「受付机側面」「左乗降口側面」「後部乗降口側面」とすること。

⑧運転席上部収納庫

運転席及び助手席上部に収納庫を設けること。

6. 電装品

①ラジオ

標準車とおりにする。

②運転室内等空調設備

- ・冷暖房（エアコン・ヒーター）とも純正品を装備すること。

③放送設備

- ・アンプ内蔵SDカードデッキ（24V、出力40W） 1台
- ・外部トランペット・スピーカー（出力20W程度） 1台
- ・アンプ、カセットはダッシュパネルに組み込み、外部スピーカーは車体前方に1台取付とし、表面をクロムメッキ処理すること。
- ・SDカードに指定するアナウンス音楽を入れて納車すること。

④室内灯

- ・LED灯を2灯、書架室通路天井に取り付ける。取り付けは半埋込み式にし、カバーを取り付けること。
- ・各乗降口にLEDステップ灯を設けること。
- ・点灯は運転席のスイッチによる。

⑤警告装置

- ・書架扉、受付扉、後面昇降口扉、側面昇降口扉の閉め忘れ、走行中の半開きを警告する赤色灯、ブザーを運転席に設ける。作動はサイドブレーキ解除と同時に警告する装置を付けること。
- ・左折時に音声にて周囲に知らせることができること。（ON/OFF機能を有すること）

⑥バックカメラ・モニター

- ・バックカメラ及びモニターはドライブレコーダー兼用とし、所定の場所に設けること。
- ・常時映像を投影できること。

⑦インバーター

- ・24Vを100Vに変換するインバーターを設け、100V取り出し口を随所に設けること。
- ・インバーターの容量は1000W以上とすること。

⑧バックブザー

- ・標準車とおりにする。
- ・バック時に音声にて周囲に知らせることができること。（ON/OFF機能を有すること）

⑨メインバッテリーとサブバッテリー

- ・バッテリーは、脱着・点検等の作業が簡単にできるようにすること。
- ・メインバッテリーの他に災害時に備えてサブバッテリーを搭載すること。
- ・サブバッテリーの規格は“115D31”以上とし、交野市の承認を得ること。
- ・サブバッテリーはインバーターを使用して、最大18台のスマートフォンを0～80％程度に充電できるものとする。

⑩車いす用リフト

- ・車いすで車内に乗降できるよう自動リフトを設けること。
- ・取付位置は車体後部とし、収納時に後部扉と干渉しない構造とすること。
- ・リフトと階段式ステップが干渉しない構造とすること。

⑪コンセント

- ・AC100Vのコンセントを交野市の指定の位置に個数設けること。
- ・防水型コンセントを車外に設けること。
- ・サブバッテリーの充電用として、建屋などから車体に引き込める100V導入コンセントを設けること。

7. 塗装

①外部、室内塗装

- ・外部、内部ともに完全な防錆処理の後、長期の使用（15年程度）に耐えうる塗料にて塗装すること。

- ・外部の色は、指定色にて指定、塗りわけ塗装を行う。

②その他の塗装

- ・シャーシ部分、フェンダー裏面及び外面に現れない部分は全て防錆処理を施すこと。
- ・車体については図書館名、愛称（左右側面に2箇所）の文字を入れること。字体、場所については別に指示する。
- ・「宝くじの社会貢献広報：表示に関するデザインマニュアル」に準拠した広報表示を行うこと。

③イラスト

イラストは交野市の指示による。

8. 付属品

①メーカー標準装備（工具・フロントマット・ジャッキ）一式

②補修用品 使用塗色小缶入全色 一式

③車輪止め 一組

④巡回表示文字板 月数板・日数板・曜日数板 三式 格納木箱付き

⑤雨除けテント

- ・テントは雨の吹き込みを防ぐため、書架扉、受付扉開口時に合計6枚設けること。
- ・テントは耐候性に優れ、伸縮せず容易に脱着できるものであること。（透明系糸入カーテン）

9. 検査

(1) 中間検査

製作にあたり、受注者はその責任において工程ごとに中間検査を行う。検査は、原寸図及び打合せ事項に基づいて行い、その結果と処置を交野市に報告し、承諾を受けること。交野市が必要と認めた場合は、その都度検査を行う。

(2) 製品検査

製品完成時に工場にて行うこと。検査は中間検査に準じ、受注者の責任において行い、必要に応じて交野市が行うものとする。

10. その他

- ①車体は、永年の使用に耐えるよう製作に留意すること。
各部分の工作は加修ならびに部品の交換性を考慮して製作すること。
- ②鋼材は歪み、腐蝕等のない J I S 規格合格のものを使用し、組立て前に防錆塗料を塗布すること。
- ③木材を使用する場合は、死節、そり等のない良質硬木を使用すること。
- ④運行において、長時間走行するため、車体の耐震度、防腐、防水及び乗務員の疲労軽減には特に注意すること。
- ⑤この架装工事については、関係法規に適合するように試行し、当該官庁の行う検査に合格するよう製作すること。
- ⑥製作図面作成以前に、本仕様書についての使用打合せ及び協議を行うこと。また、制作中本仕様書の定めなき事項、又は疑義が生じた場合は両者間で協議のうえ決定するものとする。

以上